

祝開業！長崎スタジアムシティに配送ロボ DeliRo Truck(デリロトラック)と マルチロボ OS「ROBO-HI」を実装

ロボットプラットフォームやロボット開発を手掛ける株式会社 ZMP(東京都文京区、代表取締役社長:谷口 恒、以下 ZMP)は、2024年10月14日に開業した長崎スタジアムシティにおいて、サッカースタジアム上空を滑走する「ジップライン Supported by 買取専門店 諭吉」のハーネスや関連する資材を運搬するために、配送ロボ「DeliRo[®]Truck(デリロ[®]トラック)」、(牽引タイプ)およびマルチロボ OS「ROBO-HI[®]」(ロボハイ[®])を実装し、定常的な使用を実現しました。

また、長崎スタジアムシティでは施設全体でロボット活用を計画しており、今後清掃や配達など、さまざまなメーカーのロボット実装が予定されています。メーカー・役割の異なるロボットが長崎スタジアムシティ内で実装された際には、ロボハイがそれらのロボットを一元管理し、安全かつ効率的な運用をサポートいたします。



自動運転で正確に稼働する「デリロトラック(牽引タイプ)」(於:長崎スタジアムシティ)

【背景】

長崎スタジアムシティとは、ジャパネットグループの(株)リージョナルクリエイション長崎が運営するサッカースタジアム・アリーナ・ホテル・商業施設・オフィスからなる大型複合施設です。

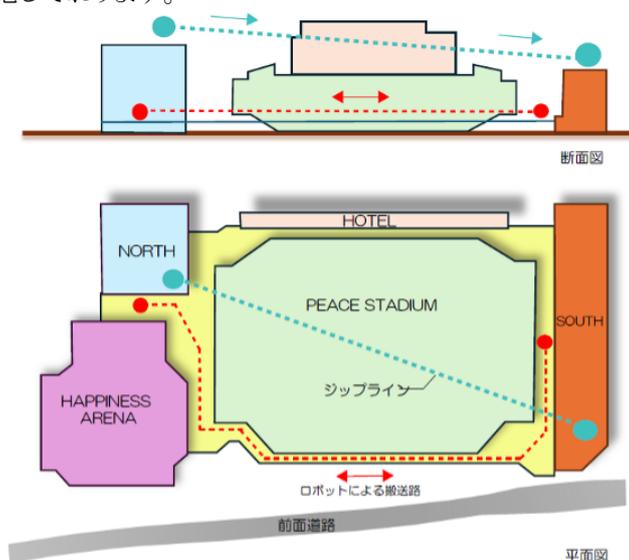


<長崎スタジアムシティ外観>

ジップラインは、オフィス棟「STUDIUM CITY NORTH」屋上から、商業棟「STADIUM CITY SOUTH」屋上を結ぶアクティビティです。ジップラインを滑走した方が装着していた滑走するための器具（ハーネス等）はゴール地点で取り外しますが、そのハーネス等は再びスタート地点で新たな滑走者に提供されます。そのため、ゴール地点からスタート地点へハーネスや関連する資材、小物類等備品を運搬する必要があります。しかし、非常に重量があるため、運搬方法や人材の確保が課題でした。そこで、これらの運搬に配送ロボ「デリロトラック(牽引タイプ)」が採用されました。

「デリロトラック(牽引タイプ)」は、ジップラインに必要なハーネス等を載せ、商業棟とオフィス棟を結ぶ片道約380mのコンコース間を無人で搬送します。この導入により、人手不足の課題への対応を実現するとともに、表情や音声で周囲とコミュニケーションを取りながら自動搬送を行うロボットによる当施設のエンターテインメント性の向上が期待できます。

「デリロトラック(牽引タイプ)」の導入にあたっては、長崎スタジアムシティのロボット導入コンサルティングを行う戸田建設(株)の支援のもと実施しております。



< デリロトラックの運搬経路(約 380m) >

長崎スタジアムシティ: <https://www.nagasaki-stadium-city.com/>

長崎スタジアムシティ ジップライン: <https://www.nagasaki-stadium-city.com/activity/zipline/>

デリロトラックの詳細について

Web: <https://www.zmp.co.jp/products/lrb/deliro/deliro-truck>

動画: <https://www.youtube.com/watch?v=7uJRb3NVJ6Y&t>

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社 ZMP 営業部

お問い合わせ WEB フォーム

https://www.zmp.co.jp/contact/other_contact

【株式会社 ZMP】

弊社は、『楽しく便利な社会を創る』というミッションのもと、自動運転車両『RoboCar®』シリーズ、生活を豊かにする歩行速ロボ『RakuRo®』、『DeliRo®』、『PATORO®』、それらを管理するロボットプラットフォーム『ROBO-HI®』と自動化のコアエンジン『IZAC®』など、ロボット・自動運転技術をコアとする製品・サービスを提供しています。

本社: 東京都文京区小石川五丁目 41 番 10 号 住友不動産小石川ビル

代表取締役社長: 谷口 恒

HP: <https://www.zmp.co.jp/> Twitter: https://twitter.com/zmp_official